

手をつなごう

平成18年6月19日

岡山県立東備養護学校
支援部だよりNO. 5

専門家チーム・巡回相談員 連携会議開催！6月12日

これは先週号でも説明した，県の特別支援教育サポート事業の会議です。専門家チームの先生方や各校の巡回相談員の先生方が一同に会しました。

専門家チームの先生方の紹介の後，相談員の先生方の自己紹介でお互いの顔と名前，学校での状況を知り合いました。また，相談の依頼状況を報告し，協力をお願いしました。

またサポート事業で対象になる方や巡回相談に行く際のシステム等についても確認しました。

今年度はこの会を後5回行い，ケースについての検討や学びを深める場としていくことになりました。



専門家チームの先生方からは，「各校のコーディネーターを育てる必要がある」「新任の特殊学級の先生方のニーズが多い」「支援に出ることが難しい場合，来てもらい指導の様子を見てもらう方法もあるのではないか」「緊急のケースが来た時にどうするか，体制を考えておく必要がある」などのご助言をいただきました。

センター化に向けて その1：相談支援…つづき

巡回相談の実際

それはたいてい一本の電話から始まります。

「～という状態の子どもがいて，その子をどう理解して，どうかかわったらいいのか，具体的な指導をお願いしたいのですが」などのお電話です。地域によって，本校のコーディネーターが担当する場合と，他校のコーディネーターにお願いする場合があります。担当が決まりましたら，訪問する日時の打ち合わせや，より詳しい実態をお聞きするためのお電話をします。できるだけ早く担当がお電話するように心がけていますが，相談件数が多く，実際の巡回相談は2～3週間先になっているのが現状です。

相談は「指導」ではなく，あくまでも「よりよい状態になるように，一緒に考えていく」ことだと考えています。話し合いをしながら，対象となる子どもさんの実態と学校・学級の実態に合わせて具体的な提案をさせていただいています。また，職員研修でお話をさせていただくこともあります。サポート事業の場合は専門家チームに同行していただくことも可能です。巡回相談をする中で私たちも勉強をさせていただいています。